

## 卷・頭・言

## 会 員 所 感

九州支部長 矢野 羊祐



本年10月の月例経済報告では、「景気は緩やかに回復している」とし、「先行きについては企業部門の好調さが家計部門へ波及しており、国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれている。一方、原油価格の動向が内外経済に与える影響等には留意する必要がある」との判断が示されました。また、

企業収益は改善し、企業の景況判断は緩やかに持ち直していると報じられています。

我々車体工業会会員会社の業績は、企業規模差、地域差などから総じて依然厳しいものがあります。私自身、モノづくりの本質は景気に左右されず、企業規模や地域差とまではなく、企業自体が「顧客満足経営」「顧客

志向経営」に注力し社会に貢献し得る企業作りを目指すべきものと考えます。

自社の顧客像や顧客満足の仕組みを見直し、コア事業と経営資源とを合致させた全員営業の経営に作り直すことが、収益力と社員の意欲に伴う経営力の重要な出発点になります。それは経営体質強化のみならず、リスク管理にも直結すると信じています。

昨今、経営体質強化、特に従業員一体となった改善活動を推進するために、「トヨタ生産方式」の基本的考え方が大変参考になります。必要なものを必要な時に必要なだけ。そしてお客様に買っていただける価格、納期、品質で。それには、徹底したムダの排除、1個流し生産、人・もの・情報の流れの整流化、多能工化による多工程持ち、設備の自動化、そして、新製品の開発も、これらの生産改善と並行して必須と説いてあります。このように業務の拡大と収益の改善のため、地道なあくなき改善活動をしていくしかないのだと思います。

しかしながら、自社だけでは出来ないものも多くあり、そ

いったものは、我々車体工業会の力を結集して成果を挙げることです。今回、車体工業会の活動指針を改めて見つけました。

会員共通の企業活動に係わる直接・間接のサービスを創出し、提供する。

関係官庁並びに団体との連携を図り、合法かつ適正な製品作りを推進する。

製品の販売秩序の正常化に務める。

製品の品質レベルの改善・向上を図る共通の指標・方策等を設定する。

海外との交流を推進し、製品並びに諸活動の国際化を図る。

が挙げられています。具体的には各部会や各種委員会におきまして重点課題の環境への対応、不正改造撲滅活動、国際化対応等の取り組みをしていただいています。

その結果、環境対応としては生産量の拡大する中でのCO<sub>2</sub>総量削減という厳しい車工会自主目標の達成や商用車架装物リサイクル処理の自主取り組み等に、また不正改造撲滅活動においても着実に成果ががりつつあります。これらの活動は、会員会

社個々の活動では大変困難なものと思います。CO<sub>2</sub>削減手法の各会員間での情報共有化や相互勉強会はもちろんのこと、架装物リサイクル処理という日本全体の取り組みは、自動車工業会はじめ関係諸団体を含めた協業活動が重要となってきています。

また、不正改造撲滅活動においては、コンプライアンス重視の経営姿勢の徹底がもっとも重要ですが、万一お客様や販売会社からの不当な要望があった場合、1社でもそれを受けてしまえば撲滅は出来ません。業界全体としてまとまって強い意志で不正を絶つことこそが、大事なことです。

今後とも、個の力では不可能なものをせひとも車体工業会全体の力で成果をあげていくことを期待しているとともに、我々九州支部としても微力ながらその一端を担いたいと思っております。更には、会員会社相互が気軽に話し合える場が共有できる関係にもしていきたいと思っております。

車体工業会の更なる充実、発展を願ってやみません。

(株)矢野特殊自動車 代表取締役社長